

やまぐちっ子学力向上だより

第 121 号 R4.12.6

山口県教育庁義務教育課

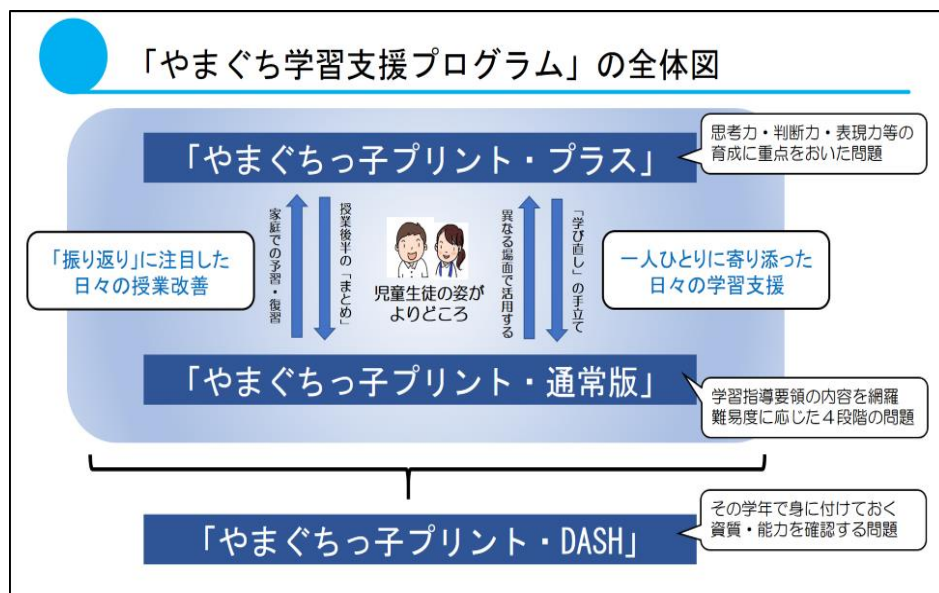
全ての児童生徒の可能性を引き出すために。

「県内全ての児童生徒の可能性を引き出したい」という思いが、やまぐちっ子学習プリントを作成したり改訂したりする原動力となっています。目の前の児童生徒に、求められる資質・能力を身に付けさせたいという思いは、教育委員会と学校、両者に共通していることだと考えます。121号では「やまぐちっ子学習プリント」について、その概要をお伝えするとともに、より効果的な活用を進めるための手がかりをお示しします。

通常版とプラスには、それぞれよさがあります。

「やまぐちっ子学習プリント」は、山口県内の先生方の知恵を集めて作った学習プリントで、私たちの共有財産であると考えています。この学習プリントは、学習指導要領に対応しており、いろいろな種類があります。今年度、改訂の対象になっているのが、

- 1 「やまぐちっ子学習プリント・通常版」
- 2 「やまぐちっ子学習プリント・プラス」 です。



「やまぐちっ子学習プリント・通常版」は、主に知識・技能に関する問題となっており、難易度に応じて蓄積された学習プリント集です。そのため、児童生徒が取り組む中で、できる楽しさを味わったり自信を付けたりすることができます。

「やまぐちっ子学習プリント・プラス」は、問題解決的な学習の過程がわかる場面設定がされており、思考力・判断力・表現力等に関する問題や、問題解決に必要な知識・技能に関する問題で構成されています。そのため、授業前半の学習課題や授業後半のまとめプリントなどに使うことができ、日々の授業改善に活用することもできます。

継続的・計画的に取り組む体制を整えましょう。

ある中学校では毎週水曜日の朝の帯時間に「やまぐちっ子学習プリント・プラス」に取り組むことを決めました。それぞれの教室で複数の教員が指導にあたり、全校体制で取り組んでいました。

ある先生は、「授業において、生徒が意見を交流しながら課題解決を図るようになりました。」と、生徒の変容について嬉しそうに話してくださいました。生徒にインタビューをしてみると、「質問に正しく答えていないことがわかりました。先生のアドバイスでそのことに気付けたので、これから気を付けて解けるようになりたいです。」と、問題解決のポイントを捉え、今後の活動の見通しについて語ってくれました。

このように「全校体制」で取組を推進していくことが大切です。そのために、年間指導計画や校時表に位置付けるなど、「見える化」して取り組むことが効果的です。

一人ひとりに寄り添った丁寧な支援が不可欠です。

児童生徒の意欲の向上や資質・能力の育成に向けて、プリントにただ取り組ませるだけでは不十分です。児童生徒が何につまずき、どのような視点に気付かせると問題解決につながるができるかを見取り、丁寧に指導を行うことが大切です。それができるのは、実際に指導を行っている先生方しかいません。児童生徒の「確実にできるようになった！」という経験の積み重ねが、次の学びへの意欲につながります。

多くの大人がかかわる環境を生み出しましょう。

一方で、児童生徒の意欲の向上や資質・能力の育成に向けて、一部の教科担任、学級担任だけが取り組むのでは不十分です。保護者や地域の方と連携しながら取組を推進していくことが大切です。

例えば、ある地域では、小・中学校教員、保護者、地域の方に児童生徒を加えて、学力についての熟議を行いました。今年度の全国学力・学習状況調査問題を知った地域の方から「自分が受けてきたような授業では、今求められている力を付けるには不十分。」と意見が表出されました。また、参加した児童生徒は「話し合い活動をたくさん行い、友達の意見と自分の意見を比べながら考えたい。」と意見を述べていました。

保護者や地域の方と連携しながら課題解決を図ることで、学校に関わる多くの方が当事者意識をもって教育活動に取り組むことができます。その際は、「やまぐちっ子学習プリント」を活用し、全ての子どもの可能性を引き出していきましょう。